

# 園芸学校等の比較

資料3

	NO	学校名	岐阜県立国際園芸アカデミー	A校	B校	C校	参考:岐阜県立森林文化アカデミー
基本概要	1	運営	県立	私立	私立	県立	県立
	2	設立	平成16年(2004年)4月	昭和63年(1988年)4月	平成23年(2011年)4月	平成11年(1999年)4月	平成13(2001)年4月
	3	目指す人材像	花と緑の産業の発展と文化の振興に向け、専門的・総合的な知識と技術を取得した「職業園芸人」	企業から喜んで迎え入れられる人材 花と緑を通じて人に安らぎ、心地良い環境を提供できる即戦力たる人材	食の未来、農の未来、環境の未来をリードする人材	優れた景観を備え、自然と調和した緑豊かな都市や地域を実現する、緑環境のデザイン・マネジメント能力を持った専門職業人を育成	自然と人との新しい関わり方を探り、持続可能な循環型社会の形成に寄与できる人材
	4	施設概要	キャンパス: 1.5ha ・本館: 995㎡ ・実習棟: 259㎡ ・教育研修棟: 696㎡ ・温室等栽培実習施設 10棟: 1,900㎡ 外部: 花フェスタ公園内 1,113㎡	キャンパス: 2.5ha ・校舎: 1,980㎡ ・実習設備: 圃場、温室5棟、ハウス14棟、見本園他	キャンパス: 0.7ha ・水田、野菜圃場、果樹園等実習園 ・食品実習室、ワインプラント室等 バイオテクノロジー実習室 ・園芸デザイン室	キャンパス: 13ha ・講義棟: 1,200㎡ ・デザイン実習棟 ・スタジオ: 1,184㎡ ・研究棟: 1,264㎡ 等	キャンパス: 41ha ・演習林: 33ha ・アカデミーセンター: 1,756㎡ ・マルチメディア実習棟: 1,996㎡ 等
	5	アクセス	最寄駅から徒歩20分	最寄駅からスクールバス15分	最寄駅からバス6分	— (高速バスとシャトルバス乗り継ぎ)	最寄駅から徒歩10分
	6	入学資格	高卒程度	高卒程度	高卒程度	大卒程度(景観園芸専門課程) 短大卒程度(園芸療法課程)	高卒程度(エンジニア科) 大卒程度(クリエイター科)
	7	定員数	1学年20名(計40名)	1学年80名(収容定員160名)	1学年50名(100名)(2年制)	景観園芸専門課程: 1学年20名(計40名)	エンジニア科: 1学年20名(計40名)
	8	就業年	2年	2年	2年もしくは4年	景観園芸専門課程: 2年 園芸療法課程: 2年もしくは1年	2年
	9	学位	専門士	専門士	・2年制: 専門士 ・4年制: 学士・高度専門士	修士(景観園芸専門課程)	専門士
	10	授業料等	<b>授業料: 118,800円/年</b> 入学金: 169,200円	授業料: 950,000円/年 入学金: 100,000円	授業料: 1,200,000円/年 入学金: 40,000円	景観園芸専門課程 授業料: 535,800円/年 入学金県内: 282,000円 県外: 423,000円	エンジニア科 授業料: 118,800円/年 入学金: 169,200円
	11	受験倍率(受験者/定員)	1.4倍	0.5倍	0.7倍	0.9倍	1.6倍
	12	学生支援制度	◆独自の奨学金 ・県内金融機関2行 成績優秀者各1名ずつ 56千円/年(2年間) ・県内花き専門農協 組合員子弟 56千円/年(2年間) ◆学生支援金 <b>海外研修、資格取得、全国大会参加経費等に支援(総額200万円)</b>	◆独自支援 資格取得、全国大会等 10千円~50千円 ◆農場奨学生制度 年間50日以上農場管理者 250千円 ◆給費生制度 成績優秀者 10~50万円	◆独自の奨学金 無利子 新卒年額 30万円 新卒以外年額 42万円 ◆母子・父子家庭支援 学費の一部免除	◆専門実践教育訓練給付金 会社勤め等をされ、雇用保険受給資格のある方に最大、入学金、授業料の70%が支給 ◆教育訓練給付金 上記の資格者のうち一定条件を満たし失業状態の場合、雇用保険の基本手当の日額80%支給 等	◆独自の奨学金(エンジニア科) ・県内金融機関3行 成績優秀者内2行 各1名ずつ108千円/年(2年間)内1行 1名 108千円(1年時のみ) ・個人奨学金 1名 100千円/年(2年時のみ)(上記1年時のみ受給者対象) ◆美濃加茂市による奨学金 市内に住所を有する等一定の条件を満たした場合、授業料の1/2以内を支援
		◆授業料免除 生活保護世帯等では、入学金及び授業料の免除		◆成績優秀者(入学時) 授業料の一部免除14.5~29万円 ◆親族免除 家族が卒業、在籍学生の兄弟姉妹が在学する場合、授業料等を免除	◆授業料免除 経済的理由で納付が困難な者で、かつ学業成績が優秀な学生 全額及び半額免除	◆授業料免除 生活保護世帯等では、入学金及び授業料の免除	

	NO	項目	岐阜県立国際園芸アカデミー	A校	B校	C校	参考:岐阜県立森林文化アカデミー
教育内容	13	専攻コース概要	<b>生産、装飾、造園の3つの分野を横断的に学んでからコース専攻</b>	生産、装飾、造園の3コースの他、野菜生産等コース有り	農業、園芸(装飾、造園)の他、バイオテクノロジーコース有り	職域に応じ基礎・応用・発展の3段階に科目を編成。演習科目を主体	森林や林業の問題を解決し、地域経済を活性化を目的
			・花き生産コース	・花き生産コース			
			・花き装飾コース	・グリーンコーディネートコース ・フラワーコーディネートコース ・フラワーデザインコース ・ブライダルフラワーコース	・園芸デザイン科(装飾)(2年制)		
			・造園緑化コース	・造園コース	・園芸デザイン科(造園)(2年制)	・景観園芸専門課程	
			・野菜生産コース	・先端農業技術科(2年制)※1 ・農業経営科(2年制)※1 ・バイオテクノロジー科(2年制) ・大学併修農業総合科(4年制) ・大学併修バイオ総合科(4年制) ※1作物、野菜、果樹全般	・園芸療法過程 ・生涯学習過程	・森と木のエンジニア科 ・森と木のクリエイター科	
	14	授業構成(座学:実習)	1:4	1:5	1:2 (先端農業、農業経営、園芸デザイン)	2:3	実習が主体
	15	修了授業時数	1800時間以上	2400時間以上	先端農業科1808時間 農業経営科1776時間 園芸デザイン科1792時間	36単位以上	1800時間以上
	16	教員数等	教員:9人 非常勤講師:33人	教員:12人 非常勤講師:50人	専任教員:8人 兼任教員:17人	教員:15人 非常勤教員:18人 インストラクター:6人	教員:17人 非常勤教員:54人 (エンジニア科、クリエイター科全80名に対して)
	17	インターン制度	修了までに3回 <b>330時間</b>	修了までに3回 120時間	192時間	1年次に10日間	修了までに3回270時間 (エンジニア科)
	18	現場教育	生花園芸店、花フェスタ公園実習	校外見学:花き関連施設の見学	提携農家の圃場にて指導実習	講義内容により現地調査等を実施	演習林等
19	情報処理教育	無	無	OA実習(エクセル等) 32時間	—	情報処理 30時間	
20	技術研鑽	技能五輪 花き装飾部門 R1:銀賞、敢闘賞 H30:敢闘賞 等	技能五輪 花き装飾部門 R1:敢闘賞 H30:金賞、銀賞 等	技能五輪 花き装飾部門 H30:敢闘賞 等	・「しあわせのまちづくりコンペ 優秀賞 ・環境芸術学会学会賞 等	—	
21	教員の研究課題	無	無	—	有	有	
22	教員研修	企業研修をR1より本格実践	視察・セミナー等情報収集が中心	—	ファカルティ・デベロップメント (教員の職能開発)	無	
就職支援	23	資格取得支援	造園技能士2級86% 3級100% フラワー装飾技能士2級100% 3級100%	造園技能士2級81% 3級100% フラワー装飾技能士2級89% 3級100%	造園技能士2級100% 3級100% フラワー装飾技能士2級100% 3級—%	—	—
	24	就職支援	学内での企業展の開催	企業職員による就職が「タ」実施	クラス担任と就職部の徹底支援	学内にキャリアセンターを設置	学内での企業説明会 3回/年
	25	求人等(H30)	5.4件/人	1.3件/人	15件/人	—	3.9件/人
その他	26	所在県の花き生産額(H29)	65億円 (出展:農林水産省花き産業振興総合調査)	183億円 (出展:農林水産省花き産業振興総合調査)	74億円 (出展:農林水産省花き産業振興総合調査)	43億円 (出展:農林水産省花き産業振興総合調査)	97億円(林業産出額) (出展:県林政部調べ)